

美しい 県土づくりNEWS



2015年
10月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 135 号
平成 27 年 10 月 30 日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

目次

- 2 一般国道 340 号立丸峠工区で（仮称）大峠トンネル築造工事に着手
- 4 一般国道 106 号宮古西道路の整備が進んでいます！！
- 6 花巻広域公園「ぎんがのもり 秋まつり」を開催
- 7 災害公営住宅「県営屋敷前アパート」が大槌町に完成！
- 9 御所湖広域公園 矢櫃地区水辺園地が開園しました！
- 10 高田松原津波復興祈念公園市民協働ワークショップを開催しました
- 11 第 12 回いーはとーぶスタンプラリー開催のお知らせ
- 12 いわて花巻空港秋季台湾プログラムチャーター便運航スタート！！
- 13 行政職員向け公民連携セミナー開催報告
- 14 内丸地区 落葉清掃、今年も始まりました！

花巻空港消火救難訓練(総合訓練)を実施しました

～航空機炎上を想定し、本番さながらに訓練しました～

平成 27 年 10 月 14 日(水)、花巻空港消火救難訓練(総合訓練)を実施しました。

この訓練は、2年に1度実施されるもので、今回は空港関係者や花巻市消防本部、県立中部病院の災害派遣医療チーム(DMAT)など 22 団体約 120 人が参加しました。

訓練当日は、滑走路北側から着陸し地上走行中だった航空機から発煙し、乗客、乗員が逃げる間もなく炎上したとの想定のもと、消防車 4 台による放水訓練、負傷者に対する初期治療訓練やヘリ等による搬送訓練を実施しました。

県では、今後も関係機関の連携強化に取り組み、いわて花巻空港の安全・安心の確保に努めていきます。



放水訓練の様子



初期治療訓練の様子



県防災ヘリ「ひめかみ」による搬送訓練



閉会式にて挨拶する小関空港事務所長

【復興支援道路】

一般国道 340 号立丸峠工区で(仮称)大峠トンネル築造工事に着手

県南広域振興局土木部 遠野土木センター
道路建設課

【工事安全祈願祭】

県が「復興支援道路」として遠野市土淵町栃内～宮古市小国間で整備を進めている一般国道 340 号立丸峠工区において、遠野市と宮古市の市境を貫く（仮称）大峠トンネル（L=1,839m）の掘削工事に着手することに伴い、工事期間中の安全を祈念するため、受注者の主催により平成 27 年 9 月 30 日に安全祈願祭が開催されました。

安全祈願祭には、県、遠野市、宮古市、地権者、工事関係者等約 100 名が出席し、鍬入れや玉串奉てんなどの神事が行われました。

受注者を代表して、大成建設㈱の近藤常務執行役員東北支店長が「事業の意義を理解し、自然環境や道路通行に配慮しながら、無事故、無災害で引き渡したい」と決意を述べられました。



神事（鍬入れの儀）の様子



受注者が無事故無災害を誓う

【事業概要】

県では、岩手県東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しています。

「復興支援道路」に位置付けた一般国道 340 号の立丸峠工区については、峠道のあい路解消に向けて重点的に整備を進めています。

【立丸峠工区の概要】

- (1) 計画延長：5.21km（大峠工区 3.26km、新田工区 0.25km、小峠工区 1.70km）
- (2) 計画幅員：一般部 6.0（9.0）m、トンネル部 6.0（7.5）m
- (3) 事業期間：平成 24 年度～平成 30 年度
- (4) 全体事業費：約 85 億円
- (5) 主要構造物：（仮称）大峠トンネル 1,839m、（仮称）小峠トンネル 920m
- (6) 整備効果：遠野市～宮古市間で約 4km の距離短縮と約 6 分の時間短縮、トンネル整備による冬期間の交通環境改善等



【((仮称) 大峠トンネル築造工事の概要)】

(1) 工 事 名：一般国道 340 号 ((仮称) 大峠トンネル築造工事

(2) 施工延長：2,520m (トンネル工 (NATM) 1,839m、道路改良 681m)

(3) 工 期：平成 27 年 3 月 5 日～平成 30 年 2 月 24 日

(4) 契 約 額：3,874,079,880 円 (第 1 回変更)

(5) 受 注 者：大成建設(株)・(株)鴻池組・佐藤工業(株)特定共同企業体

【おわりに】

立丸峠工区のうち、新田工区については平成 26 年 12 月に供用開始しており、また、小峠工区は、今年 7 月 27 日に((仮称)小峠トンネル(L=920m)の貫通式が開催され、平成 28 年度中の供用を目指しています。

今回、トンネル工事の安全祈願祭を行った大峠工区は、平成 30 年度の供用を目指し、これから工事が本格化します。

今後も安全に工事を進め、一日も早く供用出来るよう、関係機関等との連携を図りながら取り組んでいきます。



宮古側からトンネル坑口を望む [H27. 10. 15 撮影]

【復興道路】宮古盛岡横断道路(一般国道106号) 宮古西道路の整備が進んでいます！！

～つながろう！復興のために 進もう！復興のその先へ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

1 (仮称)田鎖IC～(仮称)根市IC間に工事着手

県が「復興道路」として宮古市松山～根市間で整備を進めている宮古盛岡横断道路（一般国道106号）宮古西道路については、計画している3箇所のICのうち、(仮称)松山IC～(仮称)田鎖IC間でトンネルや橋梁、道路改良工事等を進めています。

(仮称)田鎖IC～(仮称)根市IC間については、これまで、関係地権者との用地協議や埋蔵文化財発掘調査等を進めて来ましたが、今般、(仮称)田鎖トンネル(L=326.0m)や(仮称)閉伊川横断橋(L=430.5m)を含めて大規模ロット工事として発注した「一般国道106号宮古西道路(仮称)田鎖トンネル築造ほか工事」が契約となり、今年の冬前から工事に着手します。本工事の着手により、宮古西道路全線で工事が全面展開されることになり、平成30年度の供用開始に向けて、事業が大きく進んでいます。

県では、今年を「本格復興邁進年」と位置づけ、復興を強力に推し進めており、宮古西道路の一日も早い完成に向けて、全力で事業を推進していきます。

【宮古西道路の事業概要】

県では、東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保するため、信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しています。宮古西道路は、宮古盛岡横断道路（一般国道106号）の一部として、三陸復興道路整備事業の「復興道路」に位置付けられており、国と連携して県が整備を進めています。



2 宮古市立花輪小学校の復興教育で宮古西道路を現場見学

平成27年10月21日、宮古市立花輪小学校の復興教育の一環として、5年生の児童を対象とした宮古西道路の現場見学会を開催しました。

現場見学会には、5年生の児童20名が参加し、宮古西道路の事業計画や整備効果等を学んだ後、工事が進む（仮称）松山IC～（仮称）田鎖IC間について、（仮称）松山トンネルや（仮称）長沢川橋等の工事状況を見学していただきました。

また、（仮称）長沢川橋の現場では、工事が終わったばかりの床版（舗装の下にある厚さ約20cmの鉄筋コンクリートの板）の上に児童の「復興への想い」をペイントしていただきました。

児童の皆さんからは、「未来のためにがんばってください!」、「がんばろう宮古!復興のために」、「広げよう 夢の道」、「つなごう 未来へ」などの温かく力強いメッセージをたくさんいただきました。

児童の皆さんが書いた「復興への想い」は、橋梁の舗装工事が進むと見えなくなってしまいますが、橋梁完成後も舗装の下に残り続けますので、宮古西道路を身近な社会資本として感じていただくとともに、児童の「復興への想い」が一層強くなることを期待しています。

宮古西道路の事業計画等を学ぶ児童



（仮称）松山トンネルの前で集合写真



（仮称）長沢川橋の床版にメッセージを記載



（仮称）長沢川橋の上で集合写真



花巻広域公園

「ぎんがのもり 秋まつり」を開催

県南広域振興局 土木部 花巻土木センター

平成27年10月12日、県立都市公園花巻広域公園において、「ぎんがのもり 秋まつり」が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、多くの方に来園いただきました。

公園内を馬車で散策したり、フリーマーケットや屋台をまわったり、また、ポランの広場でオーケストラの演奏に耳を傾けたり、みなさんそれぞれに秋の花巻広域公園を楽しんでいただけたと思います。

花巻広域公園内には、テニスコートやゴルフ場、温泉宿泊施設（日帰り入浴も可能）もございます。見頃の紅葉を眺めながらのスポーツに来園してはいかがでしょうか。

花巻広域公園 URL: <http://sposhin.echna.ne.jp/hanamakikouikikouen/>

公園内を馬車で散策



「もじもじクラブ」による絵本読み聞かせ



フリーマーケット



花巻ジュニアスウィングオーケストラの演奏



災害公営住宅「県営屋敷前アパート」が大槌町に完成！

～ 災害公営住宅（大槌町屋敷前地区）新築工事 10.14 竣工 ～

沿岸広域振興局土木部
建築住宅課

震災時、この場所には大槌中学校がありました。校歌の一節に「海の荒波乗り越えて、帰る源水の鮭の子の強気一念讀えつつ」、あの津波を乗り越え、復興の強い一念を抱かれる、町民皆様の希望溢れる場所となることを願っています。



南側全景



配置写真

施設概要

- 1 敷地の位置 上閉伊郡大槌町大槌第 14 地割字屋敷前地内ほか
- 2 敷地面積 14,616.34 m²
- 3 構造・規模 鉄筋コンクリート造5階建 3棟 151戸
- 4 棟別概要

	床面積	戸数	付属施設
① 1号棟	4,413.77 m ²	47戸	物置、自転車置場、集会所、備蓄倉庫
② 2号棟	4,319.95 m ²	52戸	物置、自転車置場
③ 3号棟	4,369.85 m ²	52戸（ペット対応）	物置、自転車置場



各住棟を結ぶ立体歩廊



正面アプローチ側から（1階はピロティ）



集会所等に面した多目的テラス



地域の利用にも配慮した集会所（内部）

県営屋敷前アパート内覧会

去る10月3日(土)、竣工に先立ち、屋敷前アパートに入居を予定している被災者向けの内覧会を開催しました。

当日は、天候にも恵まれ、多くの見学者が訪れました。

- 主催 岩手県(県土整備部建築住宅課、沿岸広域振興局土木部)
- 日時 平成27年10月3日(土) 10:00~15:00
- 会場 災害公営住宅【県営屋敷前アパート】
- 来場者 入居予定者、周辺住民 合計 196組(うち入居決定者58組)、400人以上



住戸内部の見学の様子



内覧会受付の様子



懇親会等(町主催)の様子

入居予定者の皆様から、「明るくきれいな部屋ですね」、「早く住みたい」、「ベッドにしようか？布団にしようか？楽しい悩みです」などなど、工事に携わったものとして、うれしい声をたくさんいただき、胸が熱くなると共に、もっと頑張らなければと思いました。

御所湖広域公園 矢櫃地区水辺園地が開園しました！

盛岡広域振興局 土木部

平成27年9月30日(水)、岩手県が雫石町西安庭地区に整備を進めてきた「御所湖広域公園矢櫃地区水辺園地」が開園しました。



【開園式の様子】

開園式当日はさわやかな秋晴れのなか、雫石町長を始めとする多くの来賓の皆様に出席していただきました。

開園式では、来賓の方々によるテープカット、地元南畑小学校と安庭小学校の2年生による「クヌギの苗」の記念植樹を行い、開園を祝いました。

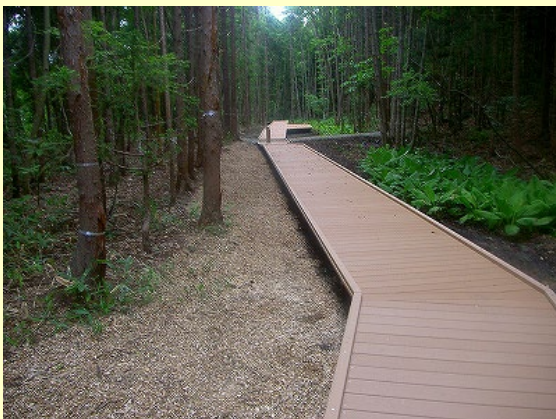
御所湖広域公園は、御所ダムやその周辺を活用して、盛岡広域生活圏における「レクリエーション需要への対応」、「環境保全及び景観の調和」を目的に、昭和55年より事業に着手し、これまでに「乗り物広場」「ファミリーランド」「町場地区園地」など、御所湖周辺に様々な特色のある公園が整備されています。



このたび開園しました「矢櫃地区水辺園地」は、**矢櫃川の清流とそれに流れ込む小水路が織りなす水と緑の空間での森林浴を楽しめる自然公園**としてのコンセプトのもとに整備を進め、川や森を身近に感じられる園地となっています。

春はミズバショウを鑑賞することができる木道、夏には矢櫃川の清流、そして秋には紅葉を楽しむ散策園路が整備されるなど季節を感じさせる園地です。

皆様のお越しをお待ちしています。



高田松原津波復興祈念公園 市民協働ワークショップを開催しました

都市計画課

県では、東日本大震災で甚大な被害を受けた陸前高田市高田松原地区を対象に、学識経験者等で構成する有識者委員会を設置し、高田松原津波復興祈念公園の基本設計の検討を進めています。その一環として、地域の皆様に高田松原津波復興祈念公園の検討状況等についてお知らせし、様々なご意見をお聴きするための「高田松原津波復興祈念公園市民協働ワークショップ～第1回 公園について知ろう～」を平成27年10月20日（火）に陸前高田市役所で開催しました。

ワークショップには中学生から80歳代までの幅広い世代の方々48名にご参加いただき、公園の在り方や避難路確保などの安全面に関すること、交流人口増加のための仕組みなど、様々な意見が出されました。

市民協働ワークショップは、基本設計の取りまとめまでに全3回程度開催する予定です。



第12回岩手『道の駅』いーはとーぶスタンプラリー
開催のお知らせ

道路環境課

第12回岩手「道の駅」いーはとーぶスタンプラリーが、平成27年11月1日（日）から平成28年4月10日（日）までの間、開催されます。皆様の参加をお待ちしています。

＜スタンプラリーの参加方法＞

岩手県内の各「道の駅」に置いている応募ハガキ（お1人様1枚）に、県内の「道の駅」のスタンプを捺印し、必要事項を記入の上、切手を貼って応募してください。（平成28年4月15日（金）当日消印有効）

＜当選商品の内容＞

★いわてフルマラソン大賞（新設賞）

全31駅すべてのスタンプを集めて応募された方から、抽選で5名様に超豪華な岩手県内特産品をプレゼント

★いわって大賞

20駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で10名様に8,000円相当の岩手県内特産品をプレゼント

★つめちゃったで賞

10駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で20名様に6,000円相当の岩手県内特産品をプレゼント

★じもといっぴん賞（新設賞）

8駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で30名様に4,000円相当の岩手県内特産品をプレゼント

★馬かったで賞

5駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で93名様に県内道の駅31駅の特産品をプレゼント

★いーはとーぶ賞

3駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で100名様に岩手県内の道の駅で使える商品券をプレゼント

【完走賞】

全31駅を制覇された方全員に「完走証明書」をプレゼント！

※道の駅「高田松原」は、震災の影響により現在休業中です。
※道の駅「錦秋湖」は、国道107号通行止めの影響により現在休業中です。スタンプは、道の駅「錦秋湖」のほかに、「湯夢プラザ」にも設置しておりますのでご利用ください。

いわて花巻空港 秋季台湾プログラムチャーター便運航スタート!!

空港課

平成 27 年 10 月 17 日（土）に、いわて花巻空港の到着ロビーにおいて、秋の台湾プログラムチャーター便の就航を記念して、歓迎セレモニーを開催し、岩手を訪れた台湾のお客様を県観光協会や県内宿泊業者がお出迎えしました。

今回は平成 21 年 11 月以来約 6 年ぶりとなる、台湾南部の都市、高雄（カオシュン）からのチャーター便も運航されます。

県では、このチャーター便が国際定期便就航への弾みとなるよう、引き続き、利用促進及び誘致促進活動に積極的に取り組んでいきます。

<p>【秋季台湾プログラムチャーター便の概要】</p> <p>運航会社：チャイナエアライン（中華航空）</p> <p>運航便数：平成 27 年 10 月 17 日（土）～10 月 31 日（土）の期間中 合計 12 便（台北 6 便 高雄 6 便）</p> <p>運航機材：ボーイング 737-800 型（158 席）（春季に同じ）</p> <p>運航形態：インバウンドチャーター（台湾からのインバウンド旅行客によるチャーター便）</p>



歓迎セレモニーの様子



歓迎用横断幕で記念撮影する台湾の方々



機長・CAへの南部鉄器の贈呈



お客様を乗せた飛行機

行政職員向け公民連携セミナー 開催報告

【建築住宅課】

東日本大震災から4年半が経過し、被災地では復興に伴う工事が目に見えて進んでいます。一方で、岩手県が復興に邁進している間に、国内の社会情勢は大きく変化しています。それは人口減少社会と空き家の増加です。

本県でも、人口も世帯数も既にピークを過ぎ、縮退社会に突入するとともに、空き家も増加しています。今は復興需要のために若干減少していますが、復興が完了する頃には、一気に空き家が増加すると予想されます。空き家の増加は、防災や防犯、環境衛生上の問題だけではなく、地域づくりやまちづくり、財政問題にも繋がる、複合的で複雑な問題です。

これらの諸問題を、10年も20年も先を見据え、根本から解決していくため、民間と行政が一体となって地域課題解決に取り組む「公民連携」が重要になると考え、**県や市町村の行政職員向けに、公民連携セミナーを開催**しています。

公民連携セミナーは、岩手県内に公民連携事業を立ち上げることを目標に、民間主導によるリノベーションまちづくりや行政に必要な立ち回り等を身に付けるため、一般社団法人公民連携事業機構の協力により行われています。

民間主導のまちづくりを、政策の中にしっかりと位置付け、民間と行政が連携して地域課題解決のため、**全国的にも先駆けとなるこの取組を、岩手県内各地に広げていきたいと考えています。**

第1回：9月24日 リノベーションまちづくり（参加者82名）

講師 一般社団法人公民連携事業機構 代表理事 清水 義次 氏

第2回：10月21日 稼ぐ公民連携事業（参加者82名）

講師 一般社団法人公民連携事業機構 理事 木下 斉 氏

第3回：12月11日 公務員リノベーション

講師 一般社団法人公民連携事業機構 理事 岡崎 正信 氏

公民連携で整備した“紫波町オガールエリア”



10月21日セミナーの様子

内丸地区 落葉清掃、今年も始まりました！

盛岡広域振興局 土木部



平成16年から実施している内丸地区の落葉清掃、今年で12年目を迎えます。紅葉が早かったことから今年は例年より少し早めて行っています。

実施日：10月15日～11月19日頃までの月曜と木曜の週2回

内丸地区を通る国道455号（中央通）の街路樹（トチノキ）は、例年秋になると落葉が盛んとなりますが、落葉により景観を損なうだけでなく、歩行等の支障となっています。

そこで、道路管理者である当振興局土木部では、業務委託による清掃に加えて、平成16年度から関係機関にも呼びかけ、朝の勤務開始前の時間（午前8時頃から20分程度）を利用して、清掃活動を行っています。

道路の維持管理については、本来道路管理者が行うべきものではありませんが、内丸地区では周辺に所在する国と県の行政機関（盛岡地方裁判所、法務合同庁舎、国合同庁舎、盛岡東警察署、県議会事務局、県庁、盛岡広域振興局等）の職員有志によりボランティア活動として行っているところです。

街路樹等の落葉清掃はそれぞれの地域の方のご協力が必要です。内丸地区に限らず、ご協力をいただいている地域の皆様方、引き続きよろしくお願ひします。



作業開始前の落葉の状況（手前）



落葉と格闘？している職員



- 東警察署
- 国合同庁舎
- 検察庁
- 裁判所
- 県庁
- 議会事務局
- 振興局

←ご協力いただいている落葉清掃の範囲